

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 2 区分

【発行日】平成28年4月14日(2016.4.14)

【公表番号】特表2016-502933(P2016-502933A)

【公表日】平成28年2月1日(2016.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2016-007

【出願番号】特願2015-550029(P2015-550029)

【国際特許分類】

B 2 1 B 31/07 (2006.01)

F 1 6 N 7/38 (2006.01)

【F I】

B 2 1 B 31/07 E

F 1 6 N 7/38 E

【誤訳訂正書】

【提出日】平成28年2月26日(2016.2.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 8】

供給路及び以下では還流路とも呼ばれる排出路は、チョック内に配置されている。供給通路及び以下では還流通路とも呼ばれる排出通路は、チョック外でポンプ装置内に配置されている。供給路は、その接続個所で、少なくとも十分に供給通路と整列している。排出路は、その接続個所で、少なくとも十分に排出通路と整列している。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 3】

図 3 は、本発明によるポンプ装置 1 3 0 の縦断面図を示す。ポンプ装置は、ハウジング 1 3 2 を備え、このハウジング内に、スクリュポンプ 1 3 7 が回転可能に支承されている。スクリュポンプ 1 3 7 のチューブ状の基体 1 3 7 - 1 は、軸受 1 3 7 - 2 内に回転可能に支承されている。軸受 1 3 7 - 2 及びこれによりこの軸受に支承されたスクリュポンプ 1 3 7 は、ハウジング 1 3 2 の内部に保持手段 1 3 2 a によって保持される。保持手段 1 3 2 a は、例えばスポークホイール又は穴付きプレートの形態で形成されている。保持手段は、好ましくはそれぞれハウジング 1 3 2 内の穴の長手方向軸 L に対して垂直な平面内に延在する。保持手段は、その周縁を穴の内側においてハウジング 1 3 2 と例えば一体的に結合されている。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 5】

排出通路 1 3 6 は、チューブ状の基体 1 3 7 - 1 の内部によって構成される供給通路 1 3 4 に対して同軸に延在する。チューブ状の基体の内部には、その外側をチューブ状の基

体 1 3 7 - 1 と回転不能に結合されたタービン 1 3 9 が存在する。タービン 1 3 9 は、圧力下にある、供給通路 1 3 4 を介して回路ポンプ（ここには示してない）によって供給される潤滑剤によって駆動され、この潤滑剤は、図 3 では右から左へ供給通路 1 3 4 を貫流する。従って有利には、タービンは、固有の駆動装置及び外部もしくは付加的なエネルギー供給装置を必要としない。タービンは、チューブ状の基体 1 3 7 - 1 とのその不動の結合に基づいてスクリュポンプ 1 3 7 を駆動し、このように移送スクリュ 1 3 8 を回転させる。既に前で言及したようにこの移送スクリュ 1 3 8 が、排出通路 1 3 6 内に存在する潤滑剤 2 0 0 に漬かっているので、移送スクリュ 1 3 8 は、その回転によって望み通り潤滑剤収集室 1 4 2 からの潤滑剤 2 0 0 の排出を支援する。流入する潤滑剤が供給通路 1 3 4 の内部のタービンを通過した後、潤滑剤は、供給口 1 2 0 - 1 を介してロールネックとチョックの孔との間もしくはネックブッシュと軸受ブッシュとの間の中間室内へ移送されるように、チョックの内部でその潤滑剤供給路 1 2 0 内へ流入する。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 1】

ロールのネックを収容するための主孔（1 1 0）と、潤滑剤（2 0 0）用の供給路（1 2 0）と、潤滑剤（2 0 0）用の還流路（1 4 0）と、排出路を経てチョックから還流する潤滑剤（2 0 0）を移送するためのポンプ装置（1 3 0）と有し、ポンプ装置が、ハウジング（1 3 2）、供給通路（1 3 4）及び排出通路（1 3 6）を備え、供給通路が供給路と、排出通路が排出路と、潤滑剤の流れに関して連絡し、ポンプ装置（1 3 0）が、供給路（1 2 0）内の潤滑剤（2 0 0）の流れによって駆動される、ロールスタンドのロールハウジング内にロールを支承するためのチョック（1 0 0）において、

ポンプ装置（1 3 0）が、そのハウジング内に、還流する潤滑剤を移送するための排出通路（1 3 6）内の移送スクリュ（1 3 8）を有するスクリュポンプ（1 3 7）と、スクリュポンプ（1 3 7）を駆動するための供給通路（1 3 4）内の、流入する圧力（ p ）下にある潤滑剤によって駆動されるタービン（1 3 9）とを備えること、スクリュポンプ（1 3 7）が、チューブ状の基体（1 3 7 - 1）から構成され、この基体が、その外側で移送スクリュ（1 3 8）を支持し、ハウジング（1 3 2）が孔（1 3 3）を備え、この孔内で、スクリュポンプ（1 3 7）が軸受（1 3 7 - 2）内に回転可能に支承され、基体の外側と孔の内側の間の空間が排出通路（1 3 6）を構成し、移送スクリュ（1 3 8）が、還流する潤滑剤（2 0 0）を移送するための排出通路（1 3 6）内へ突出し、軸受（1 3 7 - 2）が、従ってスクリュポンプ（1 3 7）も、保持手段（1 3 2 a）によって孔の内部に位置不動に位置決めされているが、回転可能に支承されていること、移送スクリュ（1 3 8）の螺旋部が、チューブ状の基体（1 3 7 - 1）に対して還流路内の潤滑剤の流れ方向に鋭角 α で傾いていること、保持手段（1 3 2 a）が、ハウジング（1 3 2）内の孔（1 3 3）の長手方向軸（ L ）に対して垂直なそれぞれ 1 つの平面内に延在するスポークホイール又は穴付きプレートの形態で形成され、それぞれその周縁を孔の内側においてハウジング（1 3 2）と結合され、その内側で、好ましくは孔に対して同軸に、スクリュポンプ（1 3 7）のための軸受（1 3 7 - 2）のそれぞれ 1 つを支持すること、チューブ状の基体（1 3 7 - 1）の内部が、供給通路（1 3 4）を構成し、この供給通路内に、タービン（1 3 9）が配置され、基体と回転不能に結合されていること、を特徴とするチョック（1 0 0）。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 5】

チョック内の排出路のため及びポンプ装置（１３０）内の排出通路（１４０）のための孔の直径（ $2 \times r_1$ ）が、 $40 \sim 80 \text{ mm}$ であり、これら孔が、その接続個所で、少なくとも十分に整列していること、を特徴とする請求項 １～４のいずれか １項に記載のチョック（１００）。